

W A I C E NOW

ワイス
ナウ

Wadayama Association of
International Cultural Exchange

わだやま国際文化交流協会

事務局 朝来市まちづくり協働部和田山地域振興課
朝来市和田山町東谷 213-1
TEL 079-672-6137
FAX 079-672-4041

オレゴン州ニューバーグ市との姉妹都市提携20周年、 シャヘイラムバレー中学校との姉妹校提携30周年に向けて



会長 垣尾 幸博

昭和、平成、そして令和の新しい時代も2年目を迎えました。皆様にとりまして素晴らしい一年となりますようお祈り申し上げます。

さて、梅雨明けとともに厳しい猛暑の続く中、令和元年（2019年）8月1日、市内の中学生アメリカ訪問団（中学生18名）とともにオレゴン州へ出発しました。

今回はニューバーグ市と朝来市（旧和田山町）との姉妹都市提携20周年、そして和田山中学校とシャヘイラムバレー中学校（旧スプリングブルック中学校）との姉妹校提携30周年を次年度（2020年度）に控えることから、相互交流の確認と交流事業の継承、そして次世代への新たな友好交流システムの構築に向けた意見交換を行いました。

平成2年度（1990年度）に和田山中学校の初代 ALT（外国語指導助手）として勤務されたアリソン・コーニルズさんの紹介でオレゴン州ニューバーグ市のスプリングブルック中学校（現 シャヘイラムバレー中学校）と姉妹校提携をしました。当時のジユディ・ウェイランド校長先生のご尽力もあり、学校あげての交流の基礎が築られました。スプリングブルック中学校から現役の先生が和田山中学校で勤務されるなど画期的な取組となり今日に至っています。



その後、ニューバーグ市が約22,000人規模の町であり、また、ヘーゼルナッツやワインの産地でポートランド市の衛星都市として発展している状況のもと自然や西部開拓精神が延々と残っている風土を踏まえ、旧和田山町と平成12年（2000年）に姉妹都市提携をしました。

← <ワイン産地であるニューバーグ市の葡萄畑>

この姉妹都市提携は、中学校間の交流が10周年を迎えたことから、新たに自治体間で提携を結び、さらなる分野での交流の拡大を目指したものです。調印式では虎臥陣太鼓による友好演奏なども披露されました。

この度の訪問でニューバーグ市庁舎において意見交換の機会をもつことができました。長らく市長を務められていましたボブ・アンドリュウ市長が退任されリック・ロジャーズ市長が新市長に着任されました。リック・ロジャーズ市長、ジョー・モアロック教育長、ケイシー・ペットリー校長先生代理、ドナ・ゴールデン交流担当教員等、そして朝来市側は交流協会長、協会副会長（和田山中学校長）、市教育委員会代表が出席しました。

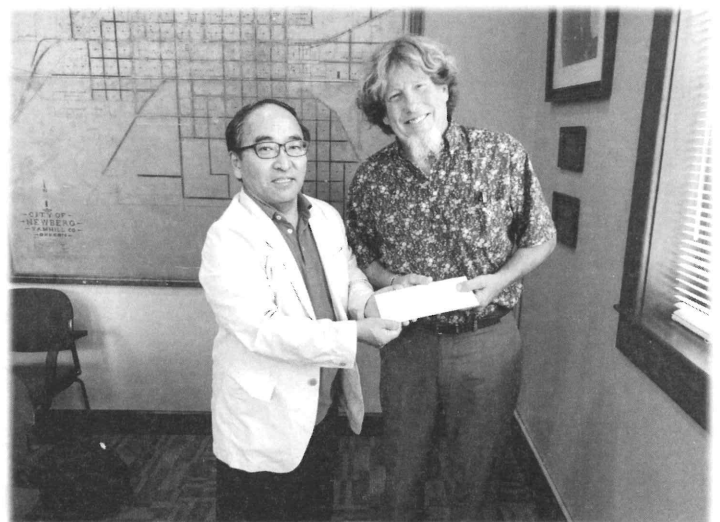


ニューバーグ市庁舎での意見交換会の様子

（向かって会長の右隣がジョー・モアロック教育長、さらに右隣がリック・ロジャーズ市長）

<ニューバーグ市 新市長 リック・ロジャーズ氏>

リック・ロジャーズ市長はこれまでの教育交流の実績を再認識され、今後の展開につなげるきっかけとして、次年度の記念式典開催の意向を示されました。多次勝昭市長からの親書を渡すとともにリック・ロジャーズ市長から多次市長あての親書をいただき、帰国後伝達しました。



歓迎会ではカレン・バツギー校長先生、過去に朝来市でALTとして勤務されたアントニオ先生やケウ先生も参加。穏やかな晴天のもと、人と人との絆がこの友好交流の原点であることを確かめ合った良い機会となりました。

< 歓迎会の様子 >



< 和田山中学校生徒の報告書より一部抜粋 >

- ◆滞在最後の夕食に日本から持ってきたうどんをふるまいました。ホスト家族は、うどんを初めて食べるらしく作り方に興味を持ってくれました。とても美味しいとたくさん食べてくれて嬉しかったです。
- ◆話されている事が分からない時がありましたが、身振り手振りで表現してもらったり、私が聞き取りやすいようにゆっくり話してくれたり、たくさん工夫をしてもらって聞き取ることができました。振り返ってみると、行く前は不安がたくさんありましたが、オレゴン州に着いて活動し始めると、楽しいことがたくさんあって、不安な気持ちが吹き飛んでいました。
- ◆学校では習わないような英語の表現を知ることができ、とても充実した1週間でした。翻訳機能を使うことなく、英語を通してコミュニケーションがとれたことが大きな自信となりました。僕は将来、英語を使う仕事をしたいと思っているので、とてもいい経験ができたと思います。

令和元年度中学生海外派遣事業の成果と今後の課題

和田山中学校長（協会副会長） 丸山 雅清

今回は、9名と例年より少ない人数での派遣となりましたが、滞在期間が昨年度より1日増えたことによって、余裕と充実が感じられる内容となり、生徒達の交流の深まりも感じられました。また、ALTを中心とした事前研修を通じて市内4校が交流を深められたこと、現地での様子を毎日ブログで更新したことなど、新たな工夫によってより充実した内容になったと思います。

一方、今後の課題として感じていることもあります。授業日数の都合等で調整が難しいところがありますが、可能であれば、アメリカの学校の学期中に実施できることが理想だと考えます。また、ホストファミリーとの時間を過ごすことも素晴らしい体験ですが、学校での活動を増やすことで生徒同士での交流を深めたり、気候や土地柄に触れながら、ニューバーグ市の産業などを見学する機会を設けたりしても良いのではないかと感じました。

様々な課題もありますが、この事業がこれからの若い世代にも引き継がれ、継続されることを願います。

来年度は姉妹校提携が30周年を迎えます。式典や記念品交換を通じて、今後の交流をさらに深める機会にしていきたいと思っています。

令和2年度 ニューバーグ市訪問参加者を募集します！！

前段での記事でもお伝えしたとおり、2020年は朝来市（旧和田山町）とニューバーグ市との姉妹都市提携20周年、和田山中学校とシャヘイラムバレー中学校の姉妹校提携30周年の記念すべき年です。そのことを記念して、ニューバーグ市にて8月初旬頃に記念行事が行われる予定で、当協会としても参加する計画をしています。詳細は調整中ですが、訪問について興味を持たれた方は、お気軽に事務局にご連絡ください。

内蒙古自治区との交流状況について

中国内蒙古自治区フフホト民族学院との交流事業については、前号でも記載しておりますが、メールや手紙での交流にとどまっておりますことを報告いたします。

なお、過去に朝来市を訪れた日本語研修生からの近況報告がありましたので紹介させていただきます。（2020年2月1日時点の状況）

<p>巴音塔拉（バインタラ） （H28年度 第25次研修生） 東京の大学院へ進学を希望しており、日本の専門学校に通っています。2月17日に試験を控えています。</p>	<p>希吉日（シジリ） （H28年度 第25次研修生） 箱根の旅館に就職が決まりました。1月に、東京から箱根へ引越しをしました。</p>	<p>石帥（シシュワイ） （H29年度 第26次研修生） 東京にある中華惣菜店で通訳と運営管理の仕事をしています。2月に鹿児島へ転勤する予定です。</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------



会員・ホームステイに協力いただける方を募集しています！

皆様のご友人、知り合い等で国際交流の活動に興味や関心のある方をご紹介ください。事務局にご一報いただければ、役員が活動内容の説明にあがります。よろしくお願ひします。